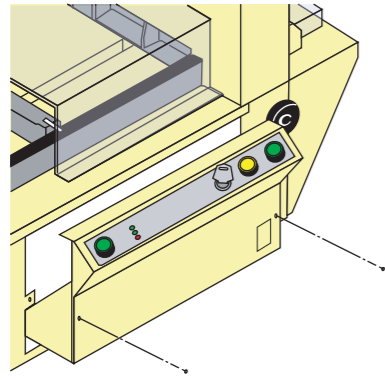


輪ゴム交換 no.701N・no713

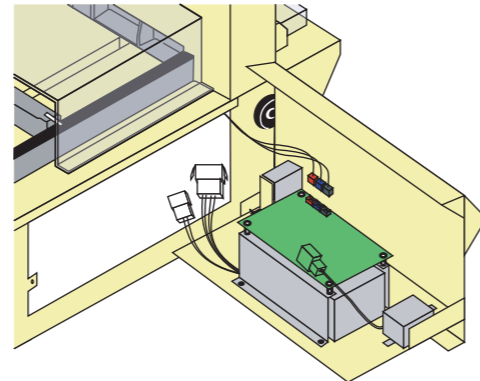
【使用工具】 プラスドライバー・8mmスパナ・13mmスパナ・8mm六角レンチ

1



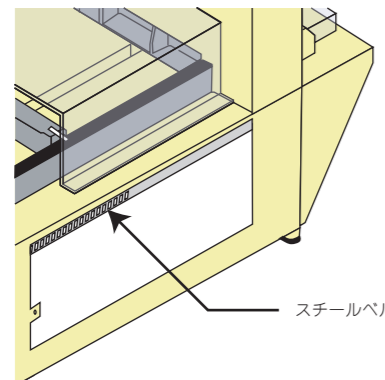
本体の前部パネルをプラスドライバーにて緩めます。

2



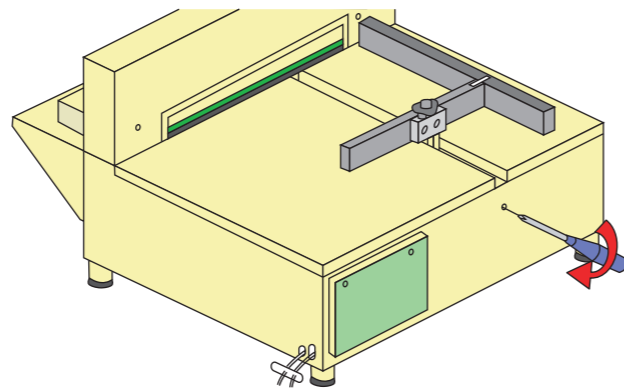
前部パネルを引き抜きます。中に配線等がありますのでコネクターを2箇所抜いておいてください。

3



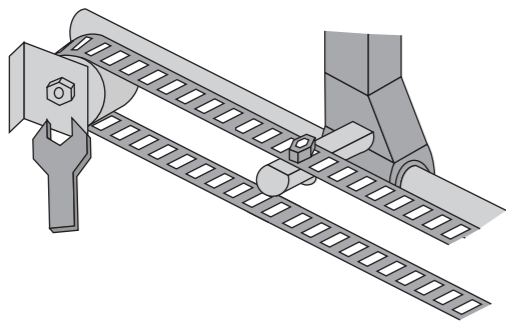
機械内部にスチールベルトが見えます。

4



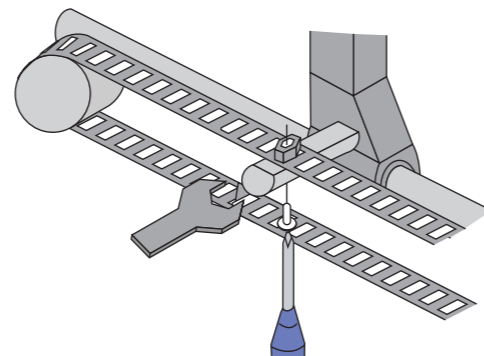
本体左側のプラスネジベルト引きネジを3~4回転緩めてください。

5



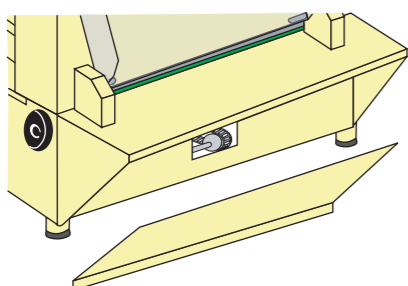
アイドラプーリー固定ネジを13mmスパナにて緩めて下さい。

6



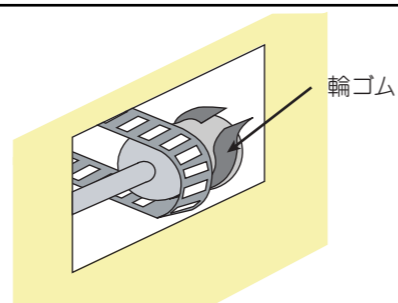
スチールベルト固定ネジをプラスドライバーで固定しながら8mmスパナにてベルト固定ナットを外し、スチールベルトをはずして下さい。

7



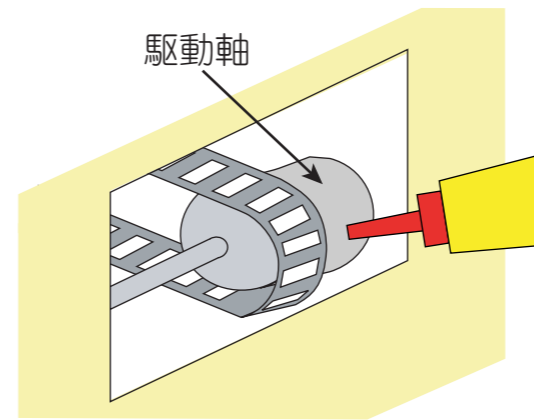
安全カバー下のカバーを外すと駆動軸が見えます。輪ゴムは駆動軸にあります

8



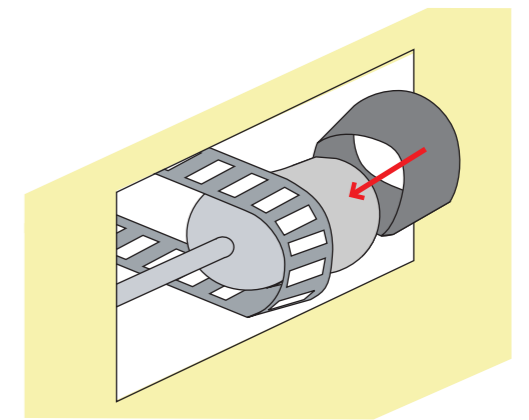
切れた輪ゴム部位が見えますので、手で取り外します。

9



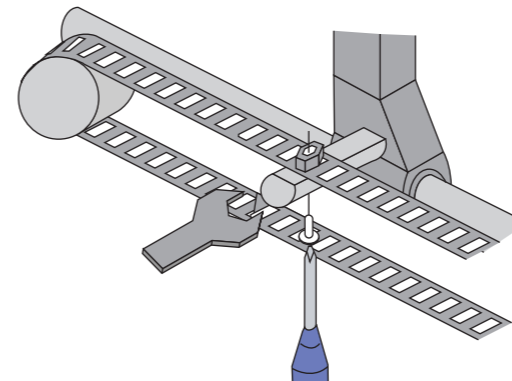
プラスチック及びゴム系ボンドを塗ってください。

10



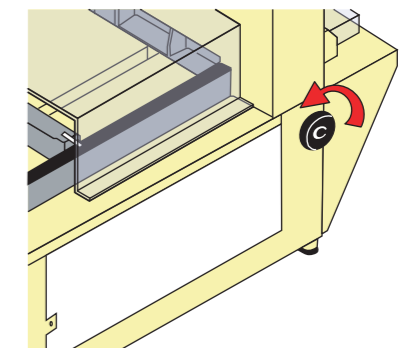
輪ゴムを組み込みます。

11



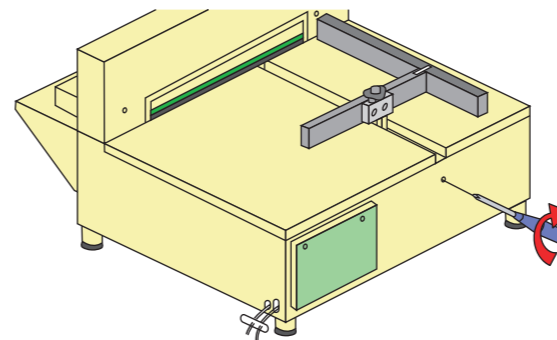
新しいスチールベルトを同じ様にかけ、軽くナットを締めます。

12



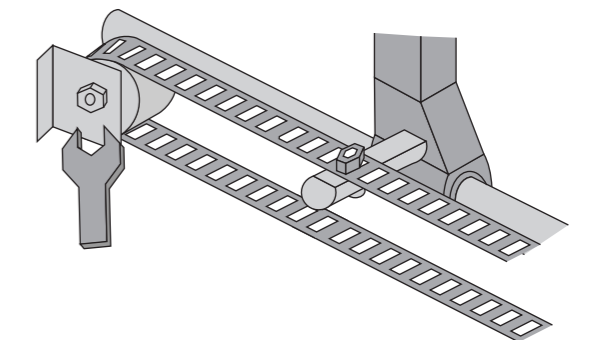
紙当て定規調整つまみを動かしてみます。紙当て条規がシャフト上を軽く動かない様であれば、シャフトに油等を含ませた布を使い拭いてください。

13



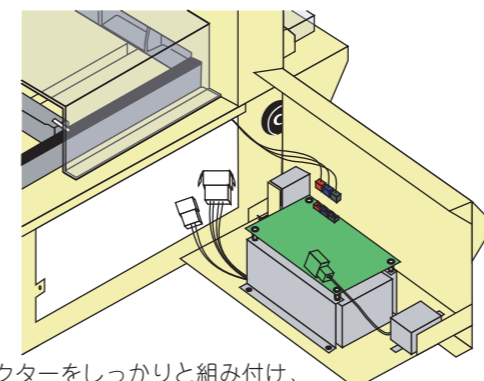
次にベルト引きねじを時計回りに締めてスチールベルトが指で押さえて2cmくらいの所まで張ります。

14



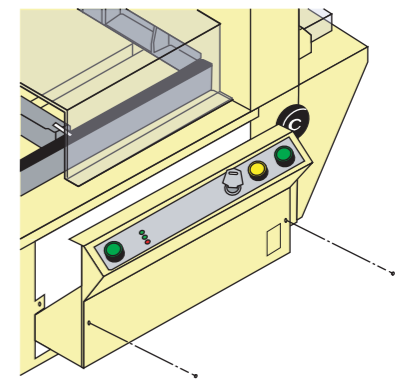
ベルトが張り、紙当て定規調整つまみで動きがスムーズなのを確認したら、アイドラプーリー固定ネジ及び、ベルト固定ねじを締めてください。

15



配線のコネクターをしっかりと組み付け、本体前部パネルを取り付けてください。

16



パネルのねじを取り付けて、終了です。